

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

## 経営理念

生産者と消費者の架け橋となり、米の安定調達・供給を実現し、食のインフラを支え、日本の食文化を守る

ROE  
10%以上

DOE  
2%以上

国内米穀仕入シェア  
10%

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 調達力の確保

調達先開拓と成長投資で調達力強化。海外現地法人活用含め外国産米対応を強化し機動的な調達確保と販路拡大を推進

## 3. コメ関連事業の規模拡大

飼料・鶏卵等の成長投資でM&A・販路拡大を組み合わせ、事業ポートフォリオを強化。米穀依存度低減を目指す

## 2. コメ消費の拡大

自社ブランド訴求力向上、マーケティング強化で価値提案型販売を拡大。コメ文化・食文化継承に貢献

## 4. 経営基盤の強化

人材確保・育成、DX推進で業務効率化と意思決定迅速化。ガバナンス強化でサステナビリティ重視の持続的成長に取り組む

## ③ 対処すべき課題

## ① 市場環境の不確実性

- ・ 原材料・エネルギー価格や物流コストの高止まり、為替変動、国際情勢の不確実性に対応
- ・ 人口減少・少子高齢化による国内市場構造の変化への対応

## ② 米穀事業のリスク対応

- ・ 高齢化による離農加速への対応
- ・ 気候変動に起因する収量・品質変動による原料調達リスクへの継続対応
- ・ 令和7年産の主食用米収穫量増加と民間在庫高水準への対応

## ③ 収益の安定化実現

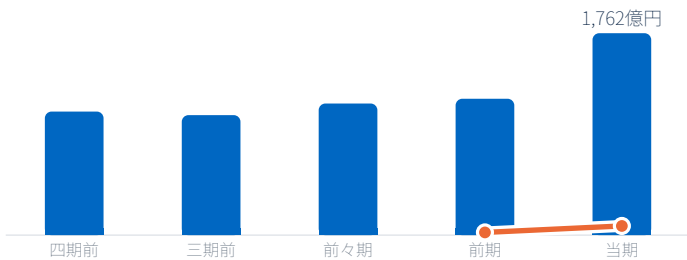
- ・ 調達先開拓と成長投資による安定調達・安定供給の構築
- ・ 米穀事業への依存度低減による環境に左右されにくい収益基盤の確立

## 面接で使えるポイント

- ・ 2040年に『コメ食のインフラ企業』へ進化し、国内米穀仕入シェア10%達成を見据える長期ビジョンに共感できるか
- ・ 生産者と消費者の架け橋という経営理念のもと、米の安定調達・供給を通じた食文化継承に貢献したいか
- ・ 2026年～2028年新中期経営計画で『ステップアップ』に取り組む成長企業で...

証券コード 2700

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
1,762億円営業利益率  
4.6%財務健康度  
41点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 61.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
780万円

卸売業内 72位/282社

平均年齢  
42.27歳

卸売業内 145位/283社

平均勤続  
15.71年

卸売業内 76位/282社

女性管理職  
10.7%

卸売業内 65位/209社

男性育休  
66.6%

卸売業内 112位/180社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース一言

